

平成 29 年度第 1 回スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会 議事録

■日 時 2017 年 6 月 23 日 (金) 午後 7 時～午後 9 時 15 分

■場 所 市役所 5 階第 3 会議室

■出席者 (敬称略・順不同)

(座長) 塔本正子、(副座長) 若菜敏孝

石渡眞澄、平井規之、松井弘喜、近藤雅江、稲葉昌代、石井進介 (代理出席)

(アドバイザー) 海老原修

■欠席者 (敬称略・順不同)

野口裕之、井上浩子、菊地栄三、藤本正照、須田高齡介護課長、川名学校教育課長

■事務局出席者

翁川文化スポーツ課担当課長、黒羽係長、鈴木主任、森主事補

■会議の公開・非公開 公開

■傍聴人の有無 0 人

■記録 森主事補 平成 29 年 7 月 3 日作成

■議題

1. 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理 (自己評価) に関する意見聴取

2. その他

・チャレンジデー2017 について

■事前配付資料

資料 1 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理 (自己評価) について

資料 2 評価ランクの基準

(参考資料) 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理 (自己評価) に関する意見聴取について

■当日配付資料

次第

名簿

(参考資料) 平成 27 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理票

(参考資料) スポーツの祭典 2016 事業報告書

(参考資料) スポーツの祭典 2016 パンフレット

(参考資料) チャレンジデー2016 結果について

(参考資料) うみかぜクラブ入会案内 (高齢者体力アップ体操・健康体操説明用)

(参考資料) 健康・体力相談 チラシ

■議事概要

●開会

●新参加者の紹介

翁川担当課長

- ・ 社会福祉協議会 若菜敏孝委員
- ・ 小学校校長会からの推薦 竹花玄委員の代理 石井進介沼間小学校長

●事務局の紹介

●資料の確認

●座長・副座長の選出

翁川担当課長

スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会運営要綱第3条第1項の規定に基づき、座長・副座長を互選により選出する。皆様からの推薦をいただきたい。

松井委員

塔本委員を推薦する。

翁川担当課長

松井委員から塔本委員の推薦があったが、よろしいか。

【異議なし】

翁川担当課長

座長は塔本委員にお願いします。塔本座長には座長席への移動をお願いします。

一言ご挨拶をお願いしたい。

塔本座長

座長に就任する塔本である。今後ともよろしくをお願いしたい。

翁川担当課長

スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会運営要綱第3条第2項に基づき、この後の進行は座長をお願いします。

塔本座長

副座長の選出を行う。皆様からの推薦をいただきたい。

塔本座長

皆様からの推薦がないため、私から若菜委員を推薦するが、よろしいか。

【異議なし】

塔本座長

副座長は若菜委員に願います。若菜副座長には副座長席への移動を願います。

若菜副座長

本懇話会には初めて参加するが、福祉の立場から意見を述べたいと思う。

●議事

塔本座長

議事に入る。議事1の「平成28年度逗子市スポーツ推進計画進行管理（自己評価）に関する意見聴取」について、事務局から説明を願います。

翁川担当課長

資料1～3をご覧いただきたい。

進行管理の対象は、個別計画の上位計画である総合計画と基幹計画に記載されている事業である。それぞれに対する所管課の自己評価について、意見をいただきたい。また、スポーツ推進計画の場合はリーディング事業が1つ、基幹計画事業が3つである。さらに、スポーツ推進計画全般（施策体系ごと、理念）に対する所管課の自己評価についても、意見をいただきたい。

黒羽係長

資料1の事業進行管理票について、1事業ずつ説明する。初めに、「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」について、2016年度進捗状況以下を説明する。うみかぜクラブの入会案内と健康・体力相談のチラシもご覧いただきたい。

事業費は0円であるため、空欄である。実施結果について、逗子市体育協会とうみかぜクラブとの協議によって実施された高齢者スポーツ教室「高齢者体力アップ体操」は、2,104人が参加した。逗子市体育協会とうみかぜクラブとの協議による高齢者スポーツの種目の追加については、追加がなく1種目のままである。目標達成状況について、高齢者向けスポーツ教室の参加者が2,000人になるという2018（平成30）年度目標に対して、高齢者体力アップ体操の参加者が2,104人となったため、目標を達成した。事業の反省点について、「高齢者体力アップ体操」の参加者は前年度から16人増加した。また、参加者の多くを高齢者が占めるうみかぜクラブ「健康体操」は3,433人の参加があった。工夫している点について、「高齢者体力アップ体操」のコマ数を月曜1コマから月曜3コマへと増やしたことで、新たなニーズの確保に努めた。進捗状況については、目標を達成しているため「ア① 予定どおり進捗」を選択し、総合評価についても「(a) 順調である」とした。

塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方は願いたい。

石渡委員

「高齢者体力アップ体操」を3コマに増やしたが、参加者は16人しか増えていない。これが、コマ数を増やした効果なのか、単に誤差の範囲なのか、分析しているか。

黒羽係長

分析まではしていない。

石渡委員

目標は達成しているが、増加のための取り組みは何かしているか。

黒羽係長

参加者の増加については、コマ数を増やしたために参加者が分散したこともあるが、参加の機会を増やしたからではないか。また、うみかぜクラブが高齢者も参加できる「健康体操」を実施しているが、参加者は高齢者の方がほとんどであり、高齢者が参加できるスポーツプログラムが充実してきているのではないか。

松井委員

本懇話会で提示されているのは過去の評価だが、「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」については将来的な課題が多いと思う。例えば、今後も会員を増やしたいが、会費が上昇傾向であるといった問題など。その辺りの対策について、議論・検討はされないのか。

黒羽係長

あくまでも事業の結果に対する評価である。本懇話会では議論しない。

塔本座長

他に意見はあるか。

【意見なし】

塔本座長

委員の評価について、事務局の提案どおり「(a) 順調である」でよろしいか。

【異議なし】

塔本座長

「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」の総合評価は、「(a) 順調である」で決定する。

個人的な意見として、効果の有無については意見が分かれると思うが、関係する皆様の努力には高い評価をつけることができる。

黒羽係長（スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典））

続いて、「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」について、2016年度進捗状況以下を説明する。

事業費は690,591円である。実施結果について、逗子市スポーツの祭典を11月12日（土）に開催し、延2,413人が参加した。逗子市スポーツの祭典実行委員会を5回開催し、イベント内容や実施方法を検討した。目標達成状況について、参加者4,000人という目標を下回り達成できていない。事業の反省点について、昨年度同様「みんなの運動会」等、幅広い層の人にスポーツを楽しむ場を提供できたが、「スポーツを始めるきっかけづくり」を謳うチャレンジデーとの差別化が難しい。今後は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催等も見据え、競技性の高いイベントにする等、チャレンジデーとの住み分けを図る

必要がある。工夫している点について、雨天時に対応できるイベント数や開催会場を増やしかつ赤ちゃんや障害者が参加できるイベントを新たに設置した。進捗状況については、目標を達成できなかったため「イ予定より遅延」を選択し、総合評価についても「(c) 順調であるとみなせない」とした。

塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

平井委員

目標の 4,000 人は正直難しい。「車いすバスケット」のようなイベントを積極的に増やしていくべき。障害者スポーツを窓口障害者の大変さを共有する必要がある。そのためには、障害者スポーツのイベント開催数を増やさないと理解されにくい。

石渡委員

チャレンジデーとの住み分けが難しいためにスポーツの祭典の競技性を高めると、今度は地域対抗球技大会との住み分けが難しくなる。

黒羽係長

他のイベントとの住み分けについては、今後スポーツの祭典実行委員会で方向性を決定する。地域対抗球技大会との住み分けについて、スポーツの祭典では球技以外のイベントが多いため、スポーツの祭典ならではの種目の戦略的な競技性や競技の奥深さに触れられる形にしたい。

石渡委員

事務局の意見をスポーツの祭典実行委員会で提案するのか。

黒羽係長

その通りである。

石渡委員

参加者数を増やすための対策を何か考えているか。このままだと未達のままではないか。

黒羽係長

参加者層を広げる必要があると考えている。例えば、平成 28 年度は「赤ちゃんレース」を開催することで、若者の参加が増えた。平成 27 年度は体験学習施設スマイルと協働して、自由運動広場で「みんなの運動会」を開催した。

また、経験者の集まる競技が欲しいという声もあるが、これは難しい。

ニーズについて、横浜 DeNA ベイスターズが来たり新しいイベントであったりと要因は数々あるが、平成 26 年度（初年度）のスポーツの祭典の参加者は 3,300 人である。

平成 27 年度は雨天のため参加者数は伸び悩んだが、平成 28 年度は 2,400 人であるということは、天気が良ければ参加者数が伸びるというわけではなかった。広報部分を強くして、スポーツの祭典の知名度をさらに高めていく必要がある。

石渡委員

平成 26 年度のスポーツの祭典では、屋外で実施されたミニ運動会の競技の一つである地区対抗徒競争等で子どもの親も参加したため、参加者数が増えたのではないか。平成 28 年度はイベント数が多く、「カラーリング」等いくつかのイベントは参加者が集まりやすい場

所を割り当てられなかった。そこで、スポーツの祭典を1日ではなく2週にわたって開催する案を提案する。

背景として、総合計画では2022年度の目標が参加者延5,000人であり、補足で「開催期間を延長して多くの人に参加しやすいイベントを目指す」と述べられている。1日開催でイベントを増やしても、参加者の集まりにくい目立たない場所を割り当てられてしまい参加者の増加に結び付かないため、開催期間の延長を検討に入れないと参加者数は頭打ちになる。スポーツの祭典実行委員会で開催期間の延長について提案してほしい。

松井委員

スポーツの祭典実行委員会の委員の意見として、そもそも目標の4,000人は頭に無かった。スポーツの祭典実行委員会が考えるスポーツの祭典の目的は、年齢や障害に関わらず皆が楽しめるイベントを開催すること。例えば、平成28年度に初開催した「赤ちゃんレース」では親だけでなく祖父母も一緒に楽しんでいた。

また、逗子市体育協会の協力を得て「みんなの運動会」の写真を飾ったところ、「逗子にも若者はいるのか」という声をいただき、数値以外の評価は良いのではないか。スポーツの祭典のようなイベントは他市町村でもあり、参加者4,000人という目標は他市町村と比較しても多い。

平井委員

参加者を集めるなら、逗子アリーナだけでは会場が不足している。屋外運動施設を利用しない限り、目標の4,000人は程遠い。スポーツクラブでは、子どものサッカー大会を開催すると、子どもだけでなく親も参加する。

屋外スポーツをイベントに加えて他団体と連携を取ることで、参加者4,000人を目指すことができる。

近藤委員

子ども会の立場から、子どもたちを集めて運動会を開催するにしろ、そもそも子どもが少なく、子どもの参加を集うのは難しい。逗子市は高齢者を対象にしたほうが、参加者数は集まると思う。子どもたちの参加が中々難しい現状、参加者2,400人でも十分である。

松井委員

チャレンジデーとの住み分けについて、チャレンジデーは逗子市の基幹事業であるか。

黒羽係長

基幹事業ではない。

松井委員

今後もチャレンジデーは続けていくのか。

黒羽係長

今後もチャレンジデーが続くのであれば、スポーツのきっかけづくりを目的とする。

以前はスポーツの祭典とチャレンジデーの差異が議論されてこなかった。チャレンジデーが続くのであれば、チャレンジデーを入門編、スポーツの祭典を応用編にしていきたい。

しかし、チャレンジデーを開催しない場合は入門編が無くなるため、スポーツの祭典の立ち位置も変わる。

海老原委員

タウンミーティングにおいて、「若者がここまで多いとは思わなかった」という声があった。逗子に住む若者が増加していることから、世代間交流を増やす必要があると考える。

塔本座長

他に意見はあるか。

【意見なし】

塔本座長

評価に対しての意見はあるか。事務局の評価はcであるが、妥当か。

平井委員

目標の4,000人に対して結果が2,400人であるから、評価が「(c) 順調であるとはみなせない」であるというのは評価が単純すぎる。

塔本座長

評価でいえばどこか。

平井委員

「(a) 順調である」ではないが、「(c) 順調であるとはみなせない」ではない。

「(b) 概ね順調であるとみなせる」ぐらいか。

石渡委員

新しい人を呼び込む取り組みを模索してほしいという意味を込めて、「(c) 順調であるとはみなせない」でも良い。

塔本座長

評価を決定するために評決で良いか。

現状は、石渡委員は「(c) 順調であるとはみなせない」でもやむを得ないという意見。平井委員は、皆様の努力を認めて「(b) 概ね順調であるとみなせる」に評価を上げて良いという意見。

海老原委員

近年は、数値目標を定める風潮が強い。高齢者の人数が増加しているので、参加者数ではなく参加率で評価するやり方もある。

また、評価の決定について、評決ではなく座長・副座長に一任という案もある。

塔本座長

評決を実施する。

石井委員

挙手は避けたほうが良い。

評価で「(c) 順調であるとはみなせない」がつくならば、取り止めるべき。今後の努力目標の設置を含めて「(b) 概ね順調であるとみなせる」が妥当である。

稲葉委員

目標に対して、前年と比較して工夫をしている点で「(b) 概ね順調であるとみなせる」

と評価する。

近藤委員

「(c) 順調であるとはみなせない」の評価ではないと考える。

松井委員

「(c) 順調であるとはみなせない」の評価がつくなら取り止めるべき。今後も改良を続けていくなれば、評価は「(b) 概ね順調であるとみなせる」であるべき。

石渡委員

目標に対しての評価であれば「(c) 順調であるとはみなせない」である。

若菜副座長

本懇話会は評価をするだけの委員会であるのか。

数値目標に対する評価か、事業の内容に踏み込んだ評価か。

黒羽係長

運営要綱の趣旨においては、皆様の意見を集めることが目標である。

若菜副座長

数値目標だけ見れば4,000人であるため、「(c) 順調であるとはみなせない」である。

塔本座長

皆様の意見を聴くと、基本的には「(b) 概ね順調であるとみなせる」の評価であるが、数値目標に引きずられてしまっている。昨年も数値目標を達成できず「(c) 順調であるとはみなせない」の評価であったが、それ以前に目標値の根拠が曖昧である。評価の考え方について、目標値の妥当性を記載して懇話会に提示するか、4,000人という数値目標を再考してほしい。

また、スポーツの祭典をわずか1日の開催で良いのか、集客の方法について等、スポーツの祭典実行委員会と連携して考えていくべき。春のチャレンジデー、秋のスポーツの祭典と位置付けるのであれば、明確な差異を出す必要がある。

個人的な評価として、「(c) 順調であるとはみなせない」をつけるのは心苦しい。

皆様の意見を聴いて、委員の意見として「(b) 概ね順調であるとみなせる」に変更してよろしいか。

【異議なし】

塔本座長

「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」の総合評価は、「(b) 概ね順調であるとみなせる」で決定する。

黒羽係長（スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実））

続いて、「スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実）」について、2016年度進捗状況以下を説明する。

事業費は0円であるため、空欄である。実施結果について、逗子市体育協会と協議して、スポーツ健康相談を26回実施し、63名の参加があった。平成28年12月にトレーニングル

ームに未病センターを開設したことにより、スポーツ健康相談から定期的なスポーツ習慣へと繋げていく流れが生まれた。また、逗子市ホームページ上で「小学生のためのスポーツ団体一覧」の公開や、神奈川県「スポーツ指導者情報」の紹介を実施した。目標達成状況について、スポーツ健康相談の目標値を超えているため達成している。事業の反省点について、スポーツ健康相談の対応ができる有資格者が1名しかおらず完全予約制であるため、回数に限度がある。対応可能な職員を増員することを検討している。進捗状況については、目標を達成しているため「ア①予定どおり進捗」を選択し、総合評価についても「(a) 順調である」とした。

塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

松井委員

有資格者の職員が1名であるため完全予約制とせざるを得ないことに、逗子市として何か対応しているのか。

黒羽係長

体育協会の職員で資格を得るための講習会への参加を呼び掛けているが、参加者はいなかった。ヒアリングを進めて問題点を明らかにしつつ、何らかの対応をしたい。

松井委員

職員を増やす場合は、人件費等の支出が増える。市としてのバックアップはあるのか。

黒羽係長

市からの資金援助もそうだが、まずは有資格者の増員が先決であるため、資格を得るモチベーションの向上について考える。

石渡委員

目標がスポーツ健康相談の実施が月に2回であり、実施結果が合計26回で平均するとクリアしているが、月ごとに実施回数の波はあるのか。

黒羽係長

スポーツ健康相談が完全予約制であるため、相談者のニーズに左右されることが多く、実施回数が1回の月もあった。ただし、最近はスポーツ健康相談の実施回数が3回の月が多い。

石渡委員

スポーツ健康相談の1回の時間はどのくらいか。

黒羽係長

相談を受ける人によって様々である。

平井委員

どのような内容の相談が多いか。

黒羽係長

高血圧や糖尿病を抱えている人が、どのような運動ができるかといった相談や、これから運動を始めたいがどのような運動を始めれば良いか相談する人がいると聞いている。

海老原委員

縦割り行政に対して、スポーツは横串を入れることができる。例えば、医療行為を含む指導は有資格者でないと診断はできない。しかし、近年は健康寿命を伸ばすために運動が推奨されている。そのため、厚労省畑と文部省畑が協働する必要がある。逗子市が未病センターを設置したことだけでも注目すべき。

黒羽係長

未病センターはトレーニングルームだけでなく、市役所庁舎内にも設置されていて、それぞれ目的が違う。

海老原委員

横浜市では未病センターが区ごとに5～6か所ある。そこでは、歩数計を無料で配布している。

黒羽係長

歩数計の配布について、横浜市は未病センターの運営に民間の力を上手く利用している。

塔本座長

他に意見はあるか。

未病センターは、スポーツに対する健康相談がアリーナ、病気そのものについては市役所と住み分けができています。海老原委員に横浜市を事例として未病センターの未来を提示していただいたが、逗子はそこまで達していない。まずはスポーツ健康相談の対応ができる有資格者の職員を増員したい。

【意見なし】

塔本座長

事務局の評価は「(a) 順調である」であるが、これに対して意見はあるか。

石井委員

今後も自信をもって進めてほしい。

塔本座長

委員の評価について、事務局の提案どおり「(a) 順調である」でよろしいか。

【異議なし】

塔本座長

「スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実）」の総合評価は、「(a) 順調である」で決定する。

黒羽係長（池子の森自然公園の運動施設利用推進事業）

続いて、「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」について、2016年度進捗状況以下を説明する。

事業費は6,372,000円である。実施結果について、野球場グラウンドの砂を補充して、

既存運動施設の改修及び維持管理を実施した。アーチェリー場の設計及び整備については、整備計画の見直しに伴い実施しなかった。目標達成状況について、計画の見直しにより達成していない。事業の反省点について、野球場グラウンドの砂の補充により、快適な利用環境を整備できた。個別事情として、池子の森自然公園基本計画におけるアーチェリー場の整備の取り止めにつき、進捗状況については、アーチェリー場以外の改修・修繕を実施したことから「ア①予定どおり進捗」を選択し、総合評価についても「(a) 順調である」とした。

塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

石渡委員

目標に対して、アーチェリー場の整備を取り止めたならば、進捗状況は「エ事業中止」となる。アーチェリー場以外の整備を実施しているから「ア①予定どおり進捗」というやり方では、評価の軸がぶれているため評価しにくい。

塔本座長

アーチェリー場の整備が取り止めになったことで評価がしづらいが、総合計画に記載されている事業は総合計画が終わるまで評価する必要がある。

アーチェリー場の整備計画は残っていると聞いたが、どういうことか。

黒羽係長

第一運動公園でのアーチェリー場整備の計画は残っている。あくまで、池子の森自然公園内でのアーチェリー場整備は取り止めとなったということである。

塔本座長

アーチェリー場以外の整備を実施しているため、去年は「(a) 順調である」と評価した。

アーチェリー場の整備の部分は議論があると思われるが、本懇話会では他の部分の評価を皆様をお願いしたい。

平井委員

アーチェリー場の整備の件を除けば、評価はこのままで良い。

塔本座長

アーチェリー場の整備について事業中止と明記すると、評価の軸がぶれるため、アーチェリー場の整備の記載にこだわる必要は無いと考える。

石井委員

事務局の評価が正しいと思う。

平井委員

アーチェリー場の整備について記載はしないが、暗に含めて「(b) 概ね順調であるとみなせる」に変更したほうが良いのではないかと。

黒羽係長

池子の森自然公園のアーチェリー場以外の整備は、順調に進んでいる。

塔本座長

他に意見はあるか。

【意見なし】

塔本座長

委員の評価について、事務局の提案どおり「(a) 順調である」でよろしいか。

【異議なし】

塔本座長

「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」の総合評価は、「(a) 順調である」で決定する。

黒羽係長（個別計画進行管理総括表）

最後に、個別計画進行管理総括表について説明する。事業進行管理表の内容についてまとめたものが個別計画進行管理総括表であり、本懇話会で皆様から意見をいただくのは、「審議会・懇話会等の総括意見」と裏面の「審議会・懇話会等の意見」である。

まずは、資料2の「評価ランクの基準」について説明する。事業進行管理表の進捗状況の評価には、一番下段のア～オを使用する。次に事業進行管理表1枚ごとの評価が、一番下から二番目の段の(a)～(c)を使用する。次に(a)を1点、(b)を0.5点、(c)を0点とし、施策体系別に合計点数を事業数で割った平均点によってa～cで評価されたものが個別計画進行管理総括表の施策体系別の評価である。最後に、aを1点、bを0.5点、cを0点とし、合計点数を施策体系の数で割った平均点によってA～Cで評価されたものが、個別計画進行管理総括表全体の評価である。

次に、施策体系別の評価のコメントを説明する。1の「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」についてのコメントは次のとおりである。「うみかぜクラブ」による高齢者向けスポーツプログラムは、引き続き参加者増加傾向が続いており、高齢者の体力維持・向上に貢献している。今後も、参加者の増加とプログラムの充実を推進していく。2の「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」についてのコメントは次のとおりである。スポーツの祭典を開催し、幅広い層の人にスポーツを楽しむ場を提供した。今後は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催やチャレンジデーとの組み合わせも念頭に、より競技性の強いイベントに方向づけていく。3の「スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実）」についてのコメントは次のとおりである。スポーツ健康相談は実施数が増加し定着してきた。今後は、未病センターとの連携を活かし、定期的なスポーツ習慣につながる流れを強化する。小学生のためのスポーツ団体一覧は、定期的な更新と情報提供を行う。4の「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」についてのコメントは次のとおりである。

引き続き池子の森自然公園の維持管理及び整備を進めるとともに、計画の見直しにより設置場所が変更するアーチェリー場の整備について、競技団体などと協議しながら、方法について検討していく。

最後に、個別計画進行管理総括表の事務局としての総括は次のとおりである。「スポーツを楽しむまち」という基本理念に照らして、スポーツに新たに取り組もうとする人やス

ポーツを通して健康を維持しようとする人に向けた、高齢者向けスポーツプログラムやスポーツ支援体制を充実させて対応することができた。一方で、スポーツの祭典については、より競技性の高い事業への方向付けをし、スポーツをより高いレベルで楽しみたい人のための場として位置づけていく必要がある。池子の森自然公園の整備から外れたアーチェリー場については、引き続き関係者と協議しながら検討していく。

塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

石渡委員

個別計画進行管理総括表の裏面の意見は、今年度限りのものか。

黒羽係長

その通りである。

石渡委員

「個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項」について、「目標に問題があるため、適切な目標設定をしてほしい。」を今年も記載してほしい。

塔本座長

「各所管による事業進行管理票の評価状況についての意見」について、質問・意見のある方はお願いしたい。

石渡委員

特にない。

塔本座長

個人的な意見ではあるが、評価の基準において数値目標が先走っているため、実績や参加者の開拓等、内容に関しての評価も踏まえてほしい。

他に、意見なしでよろしいか。

【異議なし】

塔本座長

「計画を越えた連携についての意見」について、質問・意見のある方はお願いしたい。

個人的な意見ではあるが、高齢化率が上昇しているので、今後は福祉にも目を向けてほしい。また、スポーツ健康相談について、有資格者には予算をつけないと人出は増えない。予算をつけて、相談事業を拡大してほしい。

「事業の推進・改善に向けて意見・提案」について、質問・意見のある方はお願いしたい。

先ほど出た意見であるが、スポーツの祭典について開催期間の延長や開催場所の拡大といった提案を記載してほしい。赤ちゃんや障害者が参加できる場の増加は良いことである。

これらの意見を取りまとめるのは事務局で良いか。

黒羽係長

本日皆様からいただいたご意見は、事務局で案をまとめる。

塔本座長

最後に、「個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項」について、質問・意見のある方はお願いしたい。

先ほど出た意見の中で、子ども会でも子どもを集めることが難しくなっていることは、注目して評価すべき。

稲葉委員

最近、習い事や塾等で子どもたち自身が忙しく、子ども会に加入している児童は少ない。スポーツ少年団に加入している子どもたちは数多くいるため、子どもたちが参加できるスポーツを行事に反映できれば良い。また、高校の部活とも連携できればなお良い。

石井委員

事務局の提示で良い。

塔本座長

「審議会・懇話会等の総括意見」について、質問・意見のある方はお願いしたい。

スポーツの祭典について単に競技性を高めるという方向性はいかがか。チャレンジデーとの住み分けを前提とした書き方が必要。

松井委員

スポーツの祭典の競技性を高めるなら、わずか1日の開催では物足りない。競技レベルの高いイベントは集客力が高くない。

塔本座長

住み分けについて記載してほしいが、スポーツを皆で楽しめることが前提。その観点を外さないで議論してほしい。

他に意見はあるか。

【意見なし】

塔本座長

議事2の「その他」について、事務局から説明をお願いする。

鈴木主任

「チャレンジデー2017」についての参考資料をご覧いただきたい。

神奈川県内では10市町が参加した。カテゴリーについては、人口の大小で分かれている。逗子市の参加率は41.0%であり、対戦相手の能代市は参加率が50.8%。今年は残念ながら負けてしまった。

塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

【意見なし】

塔本座長

以上で本日の議事がすべて終了した。進行を事務局に返す。

翁川担当課長

本日皆様からいただいたご意見は、事務局でまとめた後、皆様に内容のご確認をお願いする。皆様のご確認の後、内容を確定する。

●閉会

翁川担当課長

次回の日程は12月頃を予定している。

これをもって「平成29年度第1回スポーツを楽しむまち返子推進懇話会」を閉会する。

◇◇◇終了◇◇◇